健全育成シリーズ（108）
幼児からの子育て（進路指導）

子供が、中学生になるころ、よく耳にする言葉に「進路指導」という言葉があります。

子供は、なんとなく世間一般の人が進学するし、親や先生方が勧めるので、とりあえず進学することにしよう。と言う考え方が一般的な傾向だと思います。

しかし、子供の「進路指導」ということをよく考えると、親は、「幼児からの子育てが基本である」と言うことではないでしょうか。青少年の健全育成を考える場合、「幼児からの子育ての基本」を振り替える必要があるように思います。

そこで、今回は、子供を育てる基本的な考え方として「幼児からの子育て（進路指導）」をテーマにしたいと思います。

子供は、自由空間で育ち成長しています。大人の支配下におかれるものではありません。小さな人権を尊重することから始まります。

子供の好奇心を大切にする。

子供は、「遊び」で育つ。

子供の「遊び」は、大人がちょっと「遊び」に行くというのとは違った重要な意味を持っています。大人は、子供の「遊び」を「いたずら」と軽く見てしまいがちですが、日々の遊びは子供にとって大事な学習になっていることを見逃してはいないでしょうか。子供の発達には、最も大切であり、よい栄養剤になっていることを忘れてはならないと思います。

子供たちは、自由に遊ぶ。体を動かして活発に遊ぶ。そして考えながら遊びを創りだす。時には、その遊びから、仲間とぶつかり合う。ぶつかり合いの中から一緒に集団で遊ぶ楽しさを自然な形で学んでいます。

「遊び」の中から、創造力や社会性などが育っていきます。特に兄弟の少なくなっている現在、「遊び」は、人が生きていくために必要な人と人とのかかわり方を学ぶ絶好の機会となっているのです。

今、大人の方が手を出し過ぎたり、子供に教えることをよい遊びだと錯覚していないでしょうか。子供に、大人の方が手を出し過ぎたり、教えこんだりしてしまい、子供の好奇心や意欲の芽をむしばんでいないでしょうか。「遊び」の原動力である好奇心や意欲、豊かな生活を考えて、子供が自由に遊べる環境を作り出すことが、大人の責務だと思います。人として生きるための大切な力を育てるためにも、「遊び」は大切です。子供が成長するためには、「どんどん遊べるようにしていく」ことが大切です。

しかし、留意したいことは子供の「遊び」が、人に迷惑がかかる時、命の危険がある時には、しっかりした叱る躾が大切です。けっして放任にならないように気をつけなければなりません。

子供が自分で決めるのを待つ姿勢。

子供が自分で決めるのを待つ姿勢を取り、大人が促す場合でも、子供が自分で決めたと感ずる言葉がけになるように努めます。

大人のいいなりになっている子が「良い子」と思われがちですが、それではいつでも「指示」されなければ何もできない子供になってしまいます。自分で考え、自分で選択し、行動できる子供に育てたいと親は、誰でも思っていると思います。

実は、「遊び」など生活全般において、自己決定させ、自己責任をもたせる躾が大切なのです。この養育態度が、わが子の「進路指導」になっていると考えられます。この体験を小さい時から、十分積み重ねていることが最も大切だと思います。

命令・禁止・拒否・指示をできるだけなくし、言葉をかけたり、手をかけたりすることも最小限にする。また、教えこんだり、意図的に物事をさせたりしない。

子供の自発性を尊重して、自発的に学び、身につけ、行動しようとする、子供の側にたった働きかけをすることです。このことに留意する必要があると思います。

伝言板
大月保健所

大月市大月町花咲1608―3
☎(22)7824

結核に気をつけましょう

結核は、予防方法や治療方法が確立されている病気です。

しかし、最近、結核への無関心や無知のため罹患する人が増加しています。結核は過去の病気ではないのです。

次のことに注意して身を守りましょう。

①せきなど気になる症状が二週間以上続くときは、病院や保健所に相談・受診しましょう。

②症状が無くても、年一回は必ず胸部X線写真を撮り、定期検診を受けましょう。

③乳幼児の予防方法は、BCG接種です。四歳までに必ず一回は受けましょう。

④無知は最大の敵。症状が出ても放置すると、病気が進行します。早期発見・早期治療を心掛けましょう。

結核の5大症状

せき　たん　胸痛
血たん　発熱

『環境首都・山梨』クリーンキャンペーンについて

山梨県では、平成八年度から県民参加による環境美化のための一斉活動日を提唱し、私たちが日ごろから利用している身近な所での環境美化に取り組むクリーンキャンペーン一斉活動を呼びかけています。本年度は次により展開しますので参加をお願いします。

☆実施日（計6回）
5月30日(火)・7月30日(日)
9月30日(土)・11月30日(木)
平成13年1月30日(火)
3月30日(金)

☆場所
道路、川、公園、広場など、日ごろから慣れ親しみ愛着のある身近な場所

☆活動内容
ごみや空き缶拾い、植花、植樹

☆活動時間
下校時、勤務前や昼休みなど自由な時間

☆参加者など
子供から高齢者までのすべての人

環境をダメにするのも、良くするのも私たちみんなの問題です。身近な活動から環境問題に取り組みましょう。